

石川県太鼓連盟設立25周年記念事業

いしかわの

太鼓

特別ゲスト

志多良

◇日時
令和5年

2月19日

●開場 13時 ●開演 13時30分

◇場所

白山市鶴来文化会館 クレイン
石川県白山市七原町77

- ・ 出城虫送り太鼓保存会 蛍心
- ・ 九谷太鼓若獅子組
- ・ 和太鼓つばき
- ・ 小松大太鼓連盟
- ・ 環 海
- ・ 和太鼓 大地
- ・ 田上本町たいこ倶楽部
- ・ 富木八幡太鼓保存会

チケット 一般 2,000円

チケット販売所 アビタ松任Tioプレイガイド、鶴来総合文化会館クレイン、石川県立音楽堂チラシボックス、浅野太鼓楽器店

■お問い合わせ／公益社団法人石川県太鼓連盟 TEL.090-7083-6395

◆主催：公益社団法人石川県太鼓連盟

◆後援：石川県、白山市、一般財団法人石川県芸術文化協会、北國新聞社、北陸放送株式会社、株式会社テレビ金沢、株式会社エフエム石川、北陸三県太鼓協会

◆協力：浅野太鼓楽器店



豊かな自然と伝統芸能が息づく愛知県奥三河を拠点として、日本全国、そして世界で活躍する和太鼓集団『志多ら』。
 大自然の中で育まれた豊かな感性と、いのちの躍動感を
 感じさせる演奏は、多くの人の心を魅了している。

志多ら

【志多ら プロフィール】

志多らは、地域に根を張ることと生きた文化の礎にふれ、伝統を受け継ぎながら新たな文化を未来に向けて創造することをテーマに活動をしているプロ和太鼓集団である。

チーム名の語源は、平安時代、農民たちの間で広く信仰されていた神、設楽良（設楽）神。神事に手をたたいてうたう歌を「志多ら歌」といい、子供が手拍子をとって歌う遊戯としても日本各地に残っている。現在の「ふしだら」という語源も、太鼓がうまく打てる者を「しだら」、打てない者を「ふしだら」といった事が始まりとされている。志を持った者達が集まり、一つの事を成し遂げていくという意味も込められている。

チームの結成は1990年。東栄町の廃校になった東蘭目小学校をお借りし稽古場・生活の場とすることでメンバーも移住、東栄町民となった。そのことがきっかけとなり地域の祭りなどの様々な行事にも参加した。今では国の重要無形民俗文化財「花祭り」（東蘭目）に「志多ら舞」を毎年奉納している（1994年～）。本物の伝統文化を担う一員（村人）となった志多らは、祭りを受け継ぐ人々の思いに直接触れることができ、舞台創作活動における重要な力をいただくこととなった。

「人は何故、祭りを受け継ぎ未来に伝えていこうとするのか？」「暮らしの一部が祭りではなく、祭りをするために日々を暮しているのではないのか？」伝統文化である民衆の祭りは、単なるイベントではなく、地域のアイデンティティを創り出す最も大切な役割を持っていると感じ、志多らの舞台創作の根幹となっている。

また、志多らは和太鼓をはじめとした音楽の力で、人と人、人と自然を結び、地域を元気に盛り上げようと志多らファンクラブを母体としてNPO法人てほへを設立。（ホームページtehohe.com）

志多らの奏でる太鼓の響きが新たな力となり「のき山学校」「奥三河のき山学校放送局」など様々な活動を通じて、伝統文化の継承、新たな創造を目指し地域と共に歩む和太鼓集団として活動している。

公式ホームページ www.shidara.co.jp